



## 親子で本に親しむ図書館

### 「こどもと本のひろば」が開館

～乳幼児から小学校低学年までの子供たちとその保護者が主な対象～

と き 4月23日(火)

と ころ 練馬区立南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」(南大泉3-17-20)

23日、南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」が開館した。

この図書館は、乳幼児から小学校低学年までの子供たちとその保護者を主な対象として、安心して読書や事業を楽しめる空間づくりを目指している。また、壁面緑化や太陽光発電を配備し、環境にも配慮した施設である。

開館に先立ち、関係者への内覧会および地域の方々への施設見学会を実施し、100人を超える来場があった。また、保育所が隣接している施設の特徴を活かし、「南大泉にじのいる保育園」の園児13人を招待し、読み聞かせを行った。

開館初日に、こどもと一緒に来館した女性は、「こどもの図書館なので、小さなこどもが声を出しても大丈夫だし、ベビーカー置き場やカーペット敷きのスペースがあるのもうれしいです。これからもぜひ利用したいです。」と語った。



(内覧会の読み聞かせの様子)



(こども用のトイレ)

練馬区立南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」は、地域の方々や多くの関係者から、小さい子供の時からたくさんの素晴らしい本と出会う場がほしいという要望を受け、健やかな成長を育む場として開館することとなった。主な対象を乳幼児から小学校低学年とした図書館は、都内でもめずらしい。練馬区の図書館では、ボランティア団体等の協力のもと、子供たちの読書への興味と感心を引き出すため「よみきかせ・おはなし会」に力を入れている。

#### 【南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」の特色】

##### (1) 乳幼児を連れた保護者が利用しやすい施設

室内にベビーカー置き場、授乳室、読み聞かせなどができる「おはなしのへや」の設置

##### (2) 乳幼児対象施設と連携したサービス

隣接する「南大泉にじのいる保育園」や区内の乳幼児対象施設と連携して、「よみきかせ・おはなし会」などの事業・サービスの実施

#### 【今後の事業予定】

南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」は、4月28日(日)の午後2時から午後3時まで「ひろばっこシアター」パネルシアターを行う。また、5月5日(日)午前11時から11時30分まで「あかちゃんあつまれおはなし会スペシャル」絵本・人形あそび、歌あそびを乳幼児向けに行う。

練馬区立図書館では、4月23日「子どもと読書の日」と4月23日から5月12日の「こどもの読書週間」にあわせ、通年事業に加え、絵本ライブや科学工作などいろいろな催しものを行う。

【問い合わせ】光が丘図書館 運営調整係 電話 03-5383-6502